

- 特任助教、研究員

募集の背景、プロジェクトの説明

2025年4月に新設される坂口光洋記念 生体内イオン応答学講座(新設)にて、共に研究室の立ち上げに携わっていただくスタッフとして、特任助教および博士研究員を募集します。

当研究室PIのバックグラウンドは内科医(腎臓内科医)です。大学院博士課程から基礎研究を始め、curiosity-drivenな研究を行ってきました。現在のテーマは、重炭酸イオンを感知するGタンパク質共役型受容体を中心として、in vitroの化合物スクリーニングから動物モデルを用いた病態モデルの解析まで幅広く行っています。

今の研究をさらに面白くするにはどうしたらよいか、ブレイクスルーを探しながら研究をしています。幅広い研究分野の方からのご応募をお待ちしております。

仕事内容・職務内容

- 当研究室では、in vitroの化合物スクリーニングからマウスを用いた病態モデル解析まで幅広い研究を行っています。これまでの経歴・業績および本人の希望を考慮の上、従事する研究テーマを決定します。
- 教室責任者との相談の上、単独であるいは当研究室の大学院生等のメンバーとともに実験を計画して遂行し、成果を論文などで発表します。当研究室に在籍する大学院生は研究歴の浅いD1, D2がメインのため、必要に応じて実験手技の指導もお願いします。
- 経歴に応じて、大学の教育活動にも参加して頂くことがあります。

配属部署

新設部署

慶應義塾大学医学部 坂口光洋記念 生体内イオン応答学講座

職種

- 助教相当(特任助教)
- 研究員・ポスドク相当(研究員)

研究分野

ライフサイエンス

給与

月給制(月額 20~40 万円):研究業績や職務経験、能力に応じて決定する。

勤務時間

- 就業時間 : 09:00-18:00
休憩時間 : 12:00-13:00
- 休日 : 土曜、日曜、祝日、年末年始、義塾の定めた日
- 勤務時間は基本週5日(実働40時間)だが、実験スケジュールに応じて土曜・日曜等の休日勤務が必要となる場合がある(応相談、振替休日あり)。

応募資格

- 博士の学位を有する者(募集時点で学位取得見込みを含む)
- 以下の全てを満たす者
 - 1) 研究テーマに沿って自ら短中期目標を設定し、研究計画を立案し遂行することができる
 - 2) その成果を学術論文によって発表する能力を十分に有する
 - 3) 大学院生・学部生の実験を指導し、協力して研究を進められる協調性・コミュニケーション能力を持つ

雇用形態

- 常勤
- 相応の理由がある場合、週4日勤務、時間短縮勤務も可。面接時応相談。研究もライフイベントも楽しみながら両立できるよう心がけています。

契約期間

- 任期あり。単年度契約制、在籍できる期間は2035年3月31日までとする。
- 更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。
- 試用期間3ヵ月
試用期間中、給与及び待遇の変更なし。
書類・面接時の申告と実情が著しく異なる場合、研究・教育の遂行に支障がある場合等、試用期間のみで契約を終了させることがあります。

勤務地

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

待遇

- 通勤交通費支給制度あり：慶応義塾大学の基準によって支給する。
- 健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険あり

採用人数

1~2 名

募集期間

- 2025 年 03 月 11 日~2025 年 04 月 30 日 必着
- 適任者の採用が決まり次第、募集を締め切る可能性があります。

応募方法

- JREC-IN Portal Web 応募

<応募書類>

1. 履歴書：様式は任意。日中に連絡のとれる電話連絡先と、電子メールアドレスを記載してください。
 2. 業績リスト：代表論文(3 編以内)に丸印をつけること。
 3. これまでの研究の概要(A4 数ページ以内、書式自由)：研究プロジェクトの内容、その中で自身が果たした役割・業務を含め、時系列に沿って具体的に記載してください。
 4. 照会可能者 1 名の氏名と連絡先
- 書類選考後、面接を行います。
 - 面接後 14 日以内にメールにて結果をご連絡いたします。
 - 応募書類の返却は返却しません。すべて当方にて責任を持って廃棄いたします。

連絡先

メールアドレス: ajou@juntendo.ac.jp

2025 年 3 月 31 日まで: 順天堂大学生化学第一講座 城(渡辺)愛理

2025 年 4 月 1 日以降: 慶應義塾大学医学部 坂口光洋記念 生体内イオン応答学講座 城(渡辺)愛理